

36 回生の臨時休校中の劇表現課題

36 回生の皆さん、入学おめでとうございます。さあ、演劇科生活が始まるぞ！ という、今日この日、コロナ終息の願いむなしく、臨時休校で新学期の幕が開きました。これからどうなるのか、とても不安に感じている人も多いことでしょう。人と人がお互いを感じつつ、直接向き合う演劇。今、そのことが病気を拡大させてしまうかもしれないという悲しい状況になってしまいました。

いままで受けたことのない新しい劇表現という授業。頭で考えるのではなく、からだで考える、初めての経験。1 日も早くみんなと一緒にワクワクしたい。フレッシュな風がアポロンホールに吹きわたり、大笑い出来る授業が再開できることを願ってやみません。36 回生の一人一人と目を見て、しっかりと話したいと願っています。もしかしたら、今回の外出規制は 36 回生にとっては初めて味わう不自由かもしれせん。自由に動き、楽しむことの大切さ・幸せを、こんな形で実感することになるとは。

阪神淡路大震災の時も、もう、2 度とこんなひどいことは起きないでほしいと願ったものです。戦時中も幕を開け続けた劇場が扉を閉ざさざるを得ない非常事態。今を記録しておきましょう。2 度と経験したくはない状況ですが、ただ、流れていく時間に身を任せずに、自覚的に記録して、自分の心と対話してください。言葉を紡ぎ、何を感じているかを自覚してください。書かなければ、考えていないのと同じことです。

演劇の基本は体力です。体力がなければ、気持も暗くなり、自信が持てなくなります。逆に体力がつけば、自分を自由にコントロールすることが出来ます。基本は腹筋・背筋の体幹。そして持久力。脚力。学校に来なくても、これは自分で鍛えることが出来ます。休校明けに 36 回生運動会をしましょう。どれだけ体力があつて、逆になくて悔しい思いをすることも大切。でも、誰よりもこれは得意という、身体的に自信を持てることを見つけておいてください。

課題その1 ○○日記

腹筋や背筋、スクワットなどの回数とともに、1日1日を記録する。行動記録ではなく、心の記録。ただし、他人が読むので、プライベートな日記とは別物。日本には、日記文学がありますね。(土佐日記・蜻蛉日記・和泉式部日記をはじめ最近ではブログも日記の一種)読み物として、どういう切り口(例えば、空のことを中心に、食べ物を中心に、弟のこと、猫になって、カメムシの目から見る、などなど)で、心を記録していくかを考え書いて下さい。4月8日、今日から始めましょう。

課題その2 自己紹介

1分30秒の自己紹介を作ります。ただ、名前とか出身地などを言っただけでは、ありきたりで誰にも覚えてはもらえません。この自己紹介を見れば、絶対に名前を覚えてもらえると確信できる自己紹介を作しましょう。名前を連呼する…、きっと誰かが思いついています。得意のバレエを踊ってみる…、きっと他にもそう考えることはあります。悩みましょう。試しましょう。今後一生使えるであろう自己紹介の最高傑作を仕上げてください。ご家族に協力を仰いで、見てもらいましょう。ご家族は無難な方向へ導こうとするかもしれませんが、抵抗しましょう。恥をかける人が強いのです。格好つけている人は、しょせん、そこ止まりです。奇抜なだけでは、見ている人に拒否感が生まれます。でも、最後は体当たりで、自分がやった後、あー楽しかったー！ すっきりしたー！ と思えるものがないのでしょうか。衣裳や小道具は使いません。自分の身体だけで表現します。

課題その3 戯曲を読む

- ① いろんなジャンル・時代・国の戯曲を3本選ぶ。
- ② 3本を読み、それぞれ気になった台詞を3つ選び、なぜ気になっ

たかを 100 字程度で書く。決してウキペディアの解説を書き写さないこと。

③ 3本のうちからお勧めの1本について、①どんな時代か ②どんな場所か ③戯曲の背景(なぜこの戯曲は書かれたのか) ④登場人物の特徴 ⑤どんな事件が起きて、どう解決したかをレポートにする。各項目ともに 200 字以上書くこと。

他の教科も課題が出るとは思いますが、劇表現の課題は楽しんで仕上げてください。授業が再開できたら、このモヤモヤを吹き飛ばし、大笑いして楽しみましょう。

そのためにも、気を緩めずに、しっかりとステイホーム！

私たちにできる最大のことは、ステイホーム！

日々、命と壮絶な戦いをされている人々に感謝して、来るべき日に向けて、心と体を鍛え、成長出来た自分に出会いましょう。

秋津シズ子